

# 街道から生まれる地方創生

～ 街道の灯で地方の未来を照らす ～



アルベルゴ  
ディフーズ

## 対象地域

奥州街道（東京～福島）

## 応募者

株式会社ビジネスクロス

代表 中小企業診断士

宮崎 博孝

中小企業診断士

木内 清人

長島 和秀

井上 有弘

日本版  
DMO

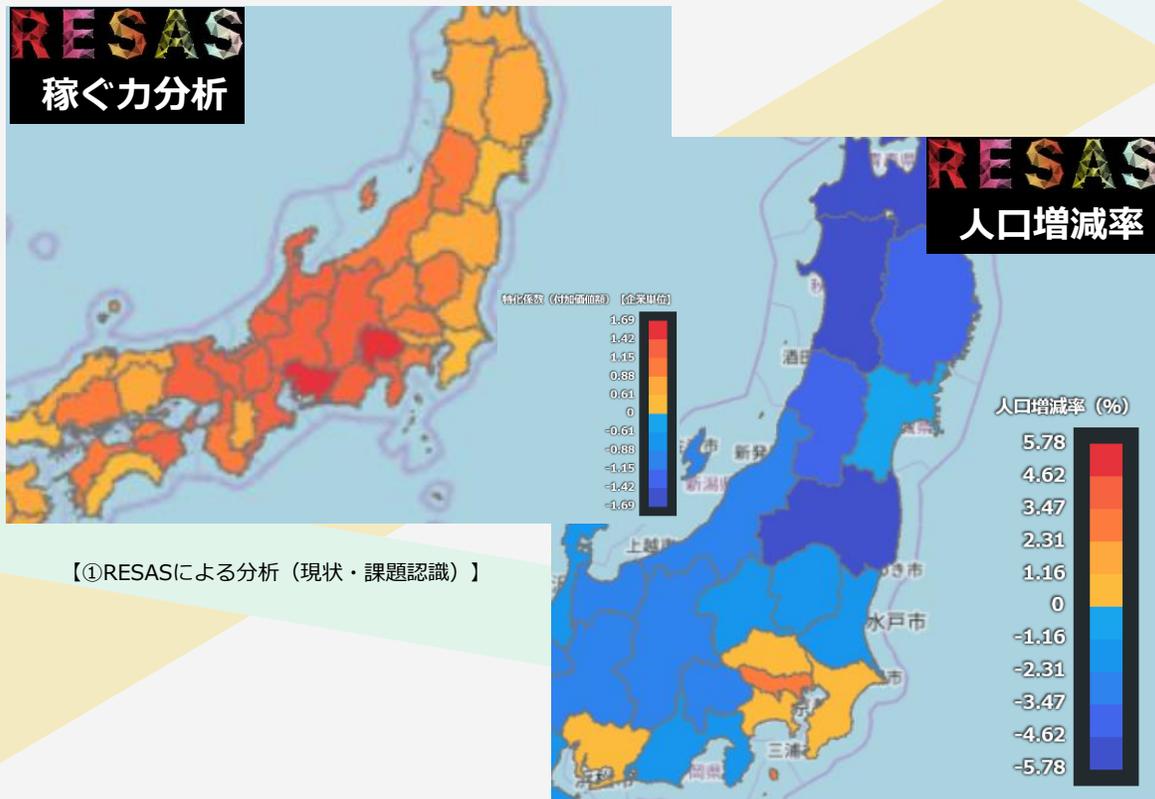
奥州街道  
ブランド

街道  
アプリ

# 課題①：稼ぐ力が不足

RESAS（産業構造マップ 全産業 稼ぐ力）より、**奥州街道**で福島にいたる地域は、比較的「**稼ぐ力**」が**弱い**傾向にあることがわかる。

（2011年の東日本大震災の影響が、依然、残っている）



また、**人口の減少率**も大きくなっている。

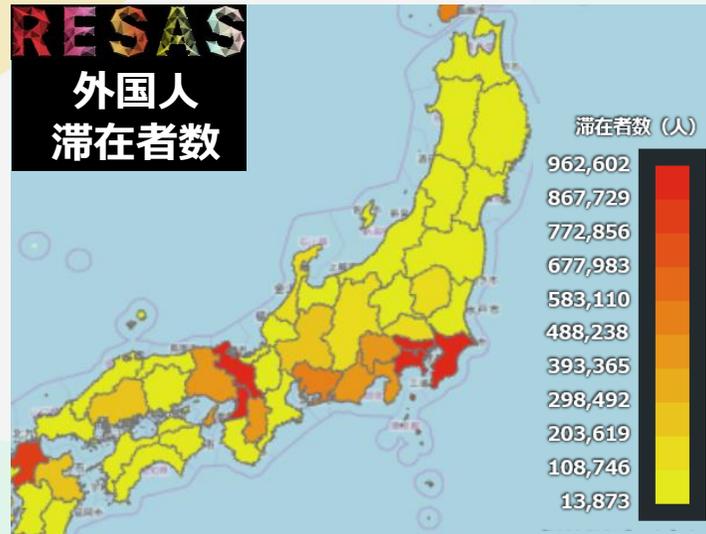
**奥州街道は、東京から福島へとつながる街道**であり、比較的、**稼ぐ力が弱い地域**にあるため、**稼ぐ力を強化することが課題**となっていることが読み取れる。

# 課題②：インバウンド需要の偏り

人口が減少していく日本において、  
**インバウンド需要**の取り込みは必要不可欠。

現状は**東京一極集中**。地方の活力を向上させるには、この**需要の取込が重要**（課題）であり、奥州街道を辿り、**福島まで繋げる**必要がある。

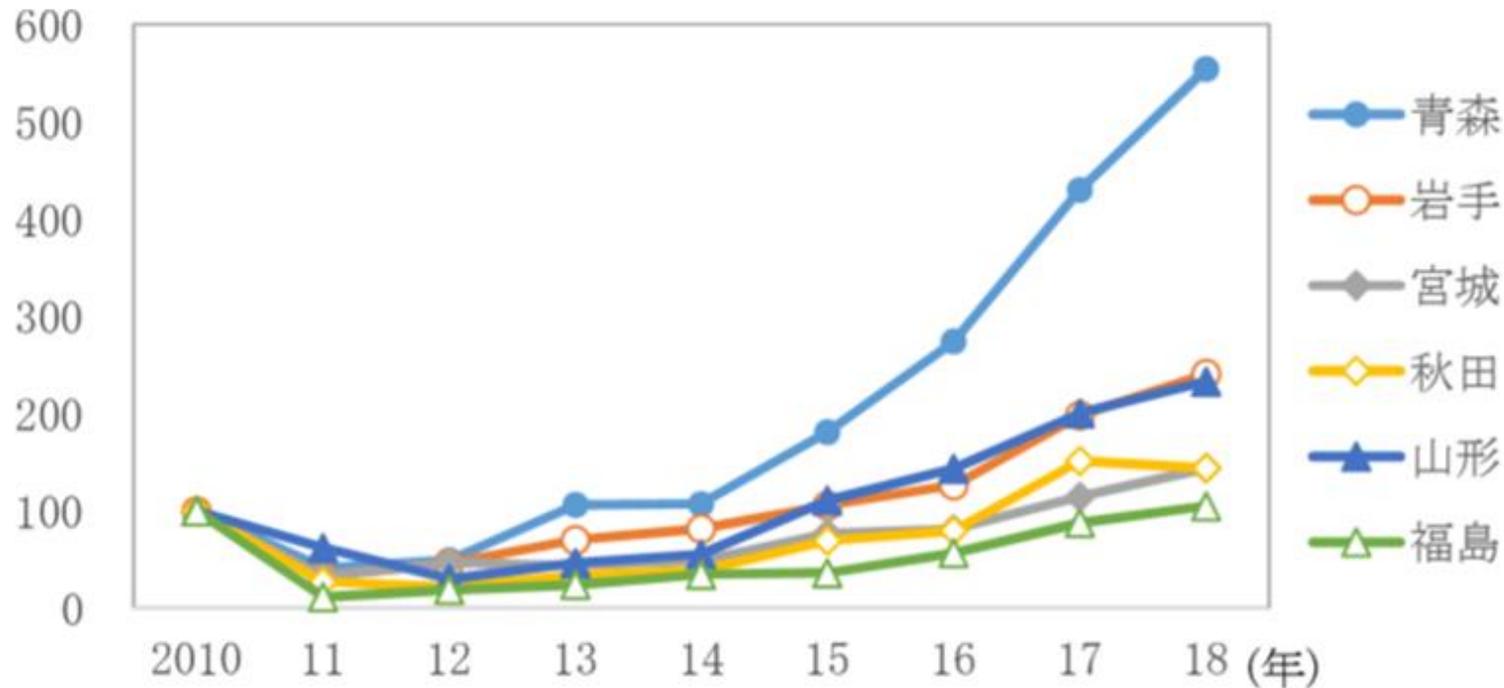
東京都	2,319万人泊
栃木県	32万人泊
茨城県	25万人泊
埼玉県	23万人泊
福島県	18万人泊



# 課題③：観光需要を活かしきれていない

福島は、東北地方のなかでも、宿泊施設の宿泊者数が伸び悩んでいる。同じ東北の青森と比べ約5分の1となり最下位である。

図表 I - 38 観光客中心の宿泊施設の日本人延べ宿泊者数  
(2010年(平成22年)を100とした指数の推移)



福島は、**宿泊観光需要の取込が課題**である。

福島は、**人口の減少率が高く、インバウンド需要や観光需要も不足し、結果、稼ぐ力も低い。**

# 提案の方向性

産業構造マップによると、**福島県**と**奥州街道がある1都4県**（東京都、埼玉県、茨城県、栃木県、福島県）の**産業構造が類似**している。  
 宿泊業・飲食サービス業における「**飲食店**」、卸売業・小売業における「**その他小売**」や「**飲食料品小売業**」などの事業所が多く、課題であるインバウンドを含む、**観光による地方創生**が効果的であると判断した。

例)  
**道の駅**で地元顧客だけでなく**観光客**向けにも販売する。



【②RESASによる分析に基づき、考えられる政策アイデア（解決策の提示）】

# 提案の概要

奥州街道というブランド価値を高め、各県の地域活性化を図る。

奥州街道とは・・・

日本橋を起点とし**千住宿**（東京都足立区）から**白河宿**（福島県白河市）までの街道である。宿場は、**東京**、**埼玉**、**茨城**、**栃木**、**福島**にそれぞれあり、合計27宿が点在する。

この宿場町を「**宿場街**」として新たに復興させ、国内外の**観光客**を街道へ呼び込むことで、地域経済活性化の**ミチ**を**創生**していく！

宿の**灯**が増えるほど、  
地方が明るく、活発になる。



# 提案のロードマップ

まず、奥州街道の始点である東京（**千住**）と終点の福島（**白河**）の**2地域で各施策を実行**し、その成功を**奥州街道全体**へ波及させる。

その後、順次、  
施策を投じていく。

提案 ① 奥州街道メニュー（まず千住・白河、他の地域へ）  
～ 地域の食材をコラボレーションしたメニュー開発 ～

提案 ② 奥州街道カード ～ 決済・予約・乗車券機能を搭載 ～

提案 ③ 奥州街道アプリ ～ GPS・SNS・翻訳・駅伝機能 ～

提案 ④ 奥州街道モーダルコネクト ～ 移動手段間の接続 ～

提案 ⑤ 奥州街道版 アルベルゴ・ディフーズ  
～ 空き家や古民家を宿泊施設として活用 ～

提案 ⑥ インバウンド需要の取込 ～ 街道という広域観光 ～

提案 ⑦ その後の展開 ～ 奥州街道を対象としたDMO

# 提案①：奥州街道メニュー

奥州街道内にある**特産品**を活用した、**地域コラボレーションメニュー**を開発し、**食から奥州街道のブランディング**を形成する。  
歴史ある特産品の知名度向上や需要向上に繋げ、**地域の伝統や文化**を守っていく。



出典：NPO 特定非営利活動法人  
あだち菜うどん学会HP



出典：足立区浴場連合公式HP  
(足立区大黒湯)



出典：株式会社KADOKAWA  
(Walker+ (ウォーカープラス) HP)

千住

白河

ねぎ蕎麦



出典：株式会社食文化  
(うまいもんドットコムHP)



出典：白河市勢要覧



出典：白河市勢要覧



出典：ふくしま県南9quality. HP  
白河高原清流豚



出典：白河市勢要覧



出典：白河市産米需要拡大推進協議会HP

# 提案①：奥州街道メニュー

プロモーションは、白河市公認のヒーロー「**ダルライザー**」を抜擢する。

「白河市の名産である**ダルマ**」と「起き上がるの意味の**ライズ**」を組み合わせた**ご当地ヒーロー**で「だるま」の七転八起の精神で「諦めない」



**<ダルライザーの「普通の人間」紹介>**である。

- ・白河だるまがモチーフです。
- ・筋トレが好きです。
- ・変身ではなく、着替えます。
- ・スーツは洗濯機で洗います。
- ・子育てをするイクメンです。

- ・必殺技はありません。
- ・特殊能力もありません。
- ・起き上がる心があれば十分です！

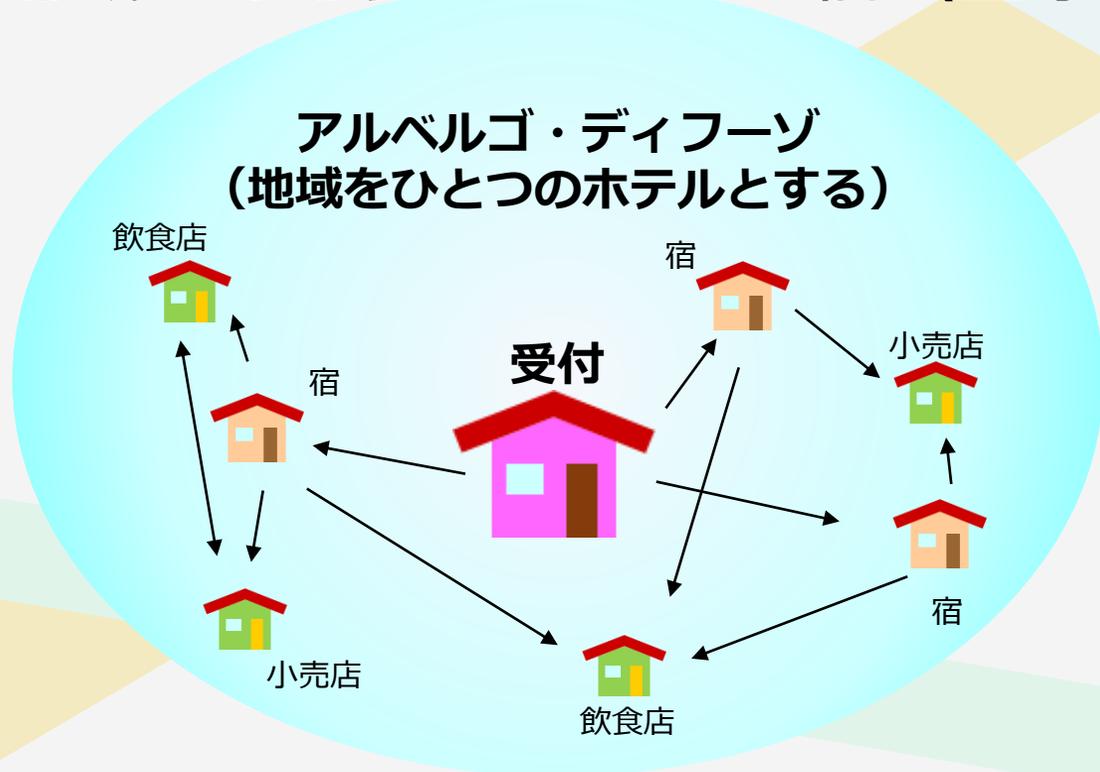
- ・一人一人の「心を起き上がらせる」それがダルライザーの目標です！
- キャストのほとんどが、白河市の一般市民という、劇場版も公開されています！



# 提案⑤：奥州街道版アルベルゴ・ディフューゾ

アルベルゴ・ディフューゾ (Albergo diffuso) は、イタリア発祥の取り組みであり、**地域にある空家や古民家を宿泊施設として再利用**する。

地域にある受付施設で、宿（空家や古民家）の鍵を受け取り宿泊する。



ホテルと異なり、飲食施設が宿泊施設にないため、**宿泊者は、地域の飲食店や小売店などを利用することになる。**

結果、宿泊者が**街中を回遊して溶け込むことで、街中に活気が生まれ、地域活性化につながる。**

# 提案⑤：奥州街道版アルベルゴ・ディフーズ

## 【補足】 ORENOプロジェクト

奥州街道リノベーション、略して「**オレノ**（私の）」プロジェクト。  
古民家や空き家は、そのままでは利用できないケースが多々ある。  
その**リノベーション**を、**3つの方法**で対応する。

- 1 **ORENO マチオコシ**（地域住民によるDIY活動）  
**地域のDYI店**と協賛、地域住民が創作（**街づくり**）する。
- 2 **ORENO コンテスト**（DIY創作作品コンテスト）  
**地域企業**と協賛、**DIYのコンテスト**にて創作する。
- 3 **ORENO ネーミング**（クラウドファンディング）  
**宿のネーミングライツ**を対価に、上記の出資を募る。

【参考事例】リノベのいばらき



# 提案⑥：インバウンド需要の取込

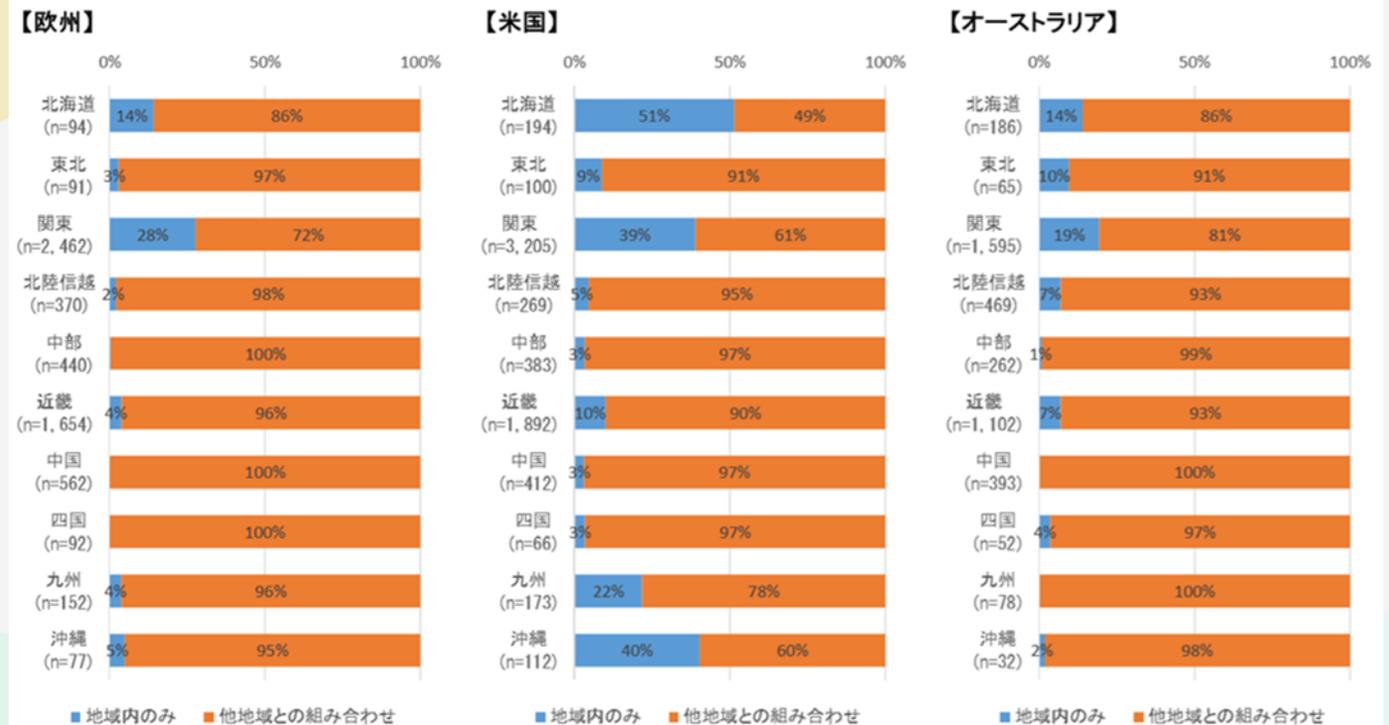
地方創生の成功に、インバウンド需要は不可欠である。

観光白書によると、**訪日外国人の観光地への訪問パターン**は、「地域内のみ」の観光よりも、圧倒的に「**他地域との組み合わせ**」が多い。

**奥州街道**という広域展開は、この傾向に**合致した施策**。

また、気に入った宿・土地があれば**永住**してもらおうことも視野に入れる。

図表Ⅱ-20 訪問地別訪日外国人観光客の訪問パターン（2018年（平成30年））



# 提案⑥：インバウンド需要の取込

## 【補足】インバウンド需要 概算

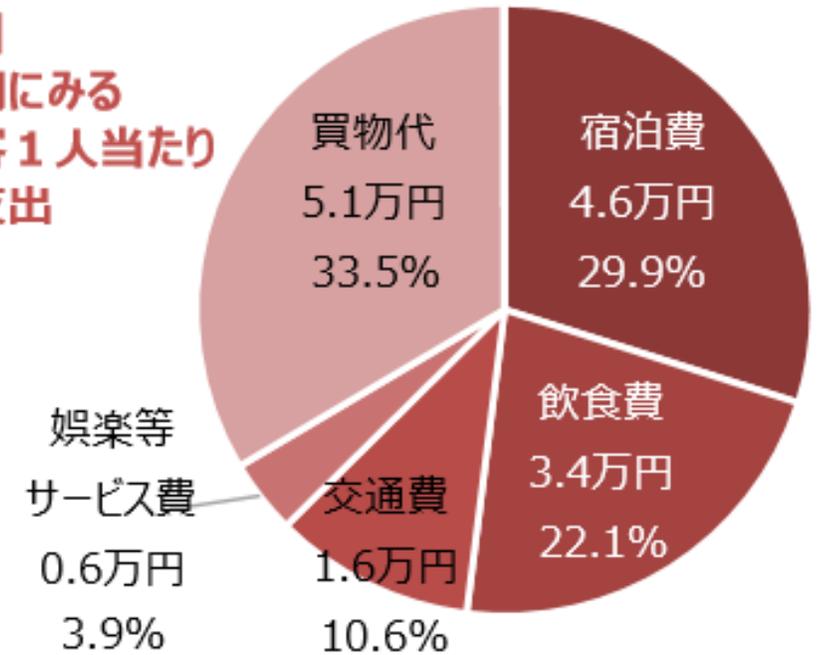
観光庁の「訪日外国人消費動向調査」によると、**訪日外国人旅行者の1人当たりの消費額は、15.3万円**と推計されている。仮に、**4県で計40万人泊分純増すれば、およそ600億円**と推計される。

また、総務省の「2017年家計調査」によると、**1人当たりの年間消費額は**

**125万円**と集計されており、4県計1万人（40万人泊の1%×2.5人）の**定住化**で、**およそ125億円**の消費額が期待できる。

なお、総務省の「平成30年住宅・土地統計調査」から、**福島、茨城、栃木、埼玉の4県の空き家数は、合計約80万戸**である。

【図表】  
費目別にみる  
一般客1人当たり  
旅行支出



出典：観光庁（訪日外国人消費動向調査）

# 提案の補足：観光版知的資産経営

知的資産経営の考えを、観光版としてアレンジすると・・・

**人的資産** 観光地や特産品など、  
個別（自県）の『**観光資源**』



**構造資産** 人的資産や関係資産を  
組み合わせる『**仕組み**』

×

**関係資産** リピーター、特産農家、  
他県との『**関係性**』



と捉えることができる。

**各要素を組み合わせ、仕組み化（構造資産化）**  
することがポイントであり、地域の垣根を越え、  
施策を関連（地域連携）させることなどが重要である。



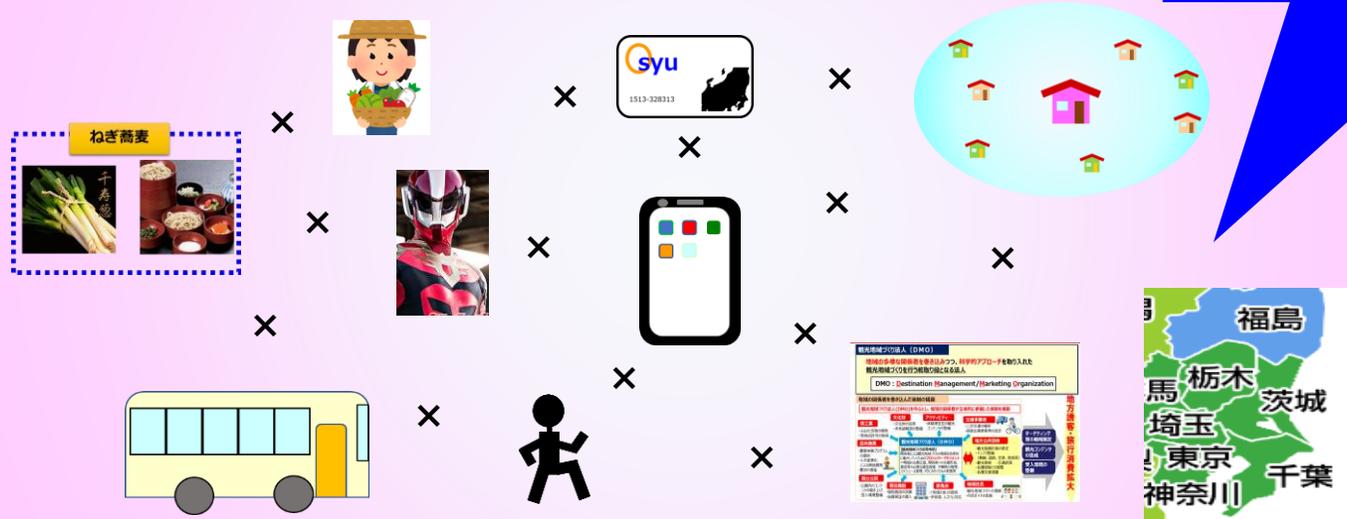
# 提案のまとめ

「**施策の組合せ**」や奥州街道内の「**他地域とのコラボレーション**」などの手法を「**仕組み化**」する。

稼ぐ力（**強み**）が不足

観光需要を活かしきれていない

インバウンド需要が取りこめていない



構造資産化することで、『**強み（宿場街）**』が構築され、結果、**持続力のある稼ぐ力**が形成される。

# さいごに



日本には多数の街道があります。

奥州街道の成功を、その仕組みを、他の街道にも波及させれば、

その可能性は、  
**三手数**  
となります。



宿場街が地域の交流を！

宿場街が新たな産業を！

宿場街が日本の元気を！

明るく

灯して

くれます。